

小学校では、全国平均正答率を上回る学校が増える傾向にあります。市内全小学校の平均では全ての教科で全国をわずかに下回っており、今後の努力が重要です。一方、中学校では、全国平均に近づきつつありますが、全国平均を超える学校は、まだまだ少ないのが現状です(下表参照)。小学校から中学校へ進学する過程での学力定着への

■全国平均正答率を上回った学校数
(小学校 全37校 / 中学校 全17校)

	国語 A	国語 B	算数 A ／数学 A	算数 B ／数学 B
小学校 6年生	11校	16校	11校	16校
中学校 3年生	0校	5校	0校	0校

那覇市の子どもたちは、平成25年の全国学力・学習状況調査(対象 小学6年生・中学3年生)では、すべての教科(国語 A・B、算数(数学) A・B)で沖縄県平均を上回りました。さらに、平成19年からの経年比較では、全体的に全国平均に近づいてきています。

小学校では、全国平均正答率を上回る学校が増える傾向にあります。市内全小学校の平均では全ての教科で全国をわずかに下回っており、今後の努力が重要です。一方、中学校では、全国平均に近づきつつありますが、全国平均を超える学校は、まだまだ少ないのが現状です(下表参照)。小学校から中学校へ進学する過程での学力定着への

『学力テスト』にみる那覇市の現状

取り組みも求められています。

このような現状も踏まえ、那覇市教育委員会では小学校と中学校の連携を通して、学力の向上を図るため、小中一貫教育の導入推進を行っています。また、小中二貫教育以外にも様々な特色ある取り組みで、子どもたちの学力向上をめざします。

伸ばせ、学力!!

～学校・家庭(地域)・行政でともにめざす学力向上～

今年の8月、全国の小学校6年生・中学校3年生を対象に文部科学省が実施した全国学力・学習状況調査(「学力テスト」)結果が発表されました。残念ながら、沖縄県は6年連続『最下位』という結果に終わりました。那覇市の子どもたちはどうだったのでしょうか?子どもたちの学力向上のため、今、那覇市で新たな取り組みが始まっています。

11月1日(金)晴

特色ある取り組みで学力向上

①電子黒板の活用

平成21年度、文部科学省より指定を受け、先行研究として大道小学校に『電子黒板』が導入されました。電子黒板は、現在、国語や算数をはじめ多くの教科で利用されており、音声や動画などを利用して子どもたちが授業をより深く理解するために役立っています。大道小学校での児童を対象にしたアンケートでは、9割を超える児童が電子黒板を使った授業は「楽しいや楽しい」、「わかりやすい」と回答しています。



タブレット
試行的にタブレット端末も導入!子どもたちの学習意欲の向上を図ります。

コメント

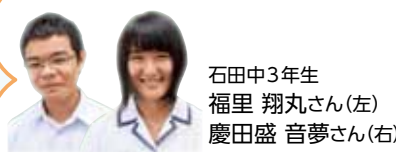
英語の授業で音声や絵を出したり、オリジナル問題も作成して授業に活用しています。また、授業以外にホームルームなどで写真を映したり、インターネットで調べものをしてみんなで活用しています。

石田中学校
宮里 征吾先生



コメント

初めて見た時は何だろうとビックリしました。絵や図表などが動画で見れたり、音声が入ったりするので、今まで以上にみんなの授業への集中力が高まっています。



石田中3年生
福里 翔丸さん(左)
慶田 盛 音夢さん(右)

②学習支援員の配置

学習内容の確実な定着のために、整数の四則計算を二通り学習する小学校3年生の算数で市内全小学校に学習支援員を配置。学習支援員が担任教師と一緒に授業を行ったり、個別指導をしたりするなど、個に応じたきめ細かい指導を行っています。



指導を行う学習支援員(真和志小)

③学力先進地域視察研修

教師の授業力も向上させるため、本市では今年、学力先進地(秋田県)へ各小中学校から選抜された27人の教師を派遣しました(10月15日～18日)。帰沖後は、学んだことを報告書にまとめ、各学校へ配布とともに、派遣者がミドルリーダーとして、その成果を普段の授業へ反映させていくことにしています。



明日を担う子ども達のために

那覇市教育委員会
教育長 城間 幹子



平成25年度「全国学力学習状況調査」の結果が出ました。那覇市においては徐々に全国平均に近づく傾向にあります。これは普段からの、学校の先生方の努力と、それに応えようとする児童生徒のがんばり、そして保護者のみなさんのご協力のおかげです。

さらに、子どもたちは伸びる可能性を秘めています。本市では、小中一貫教育をはじめ、今回紹介した電子黒板、学習支援員の配置など、さまざまな取り組みを実施してまいります。明日を担う子どもたちがもっともっと輝けるように、今後ともみなさまのご協力をユタサルグトゥ ウニゲーサビラ。

お問い合わせ 那覇市教育委員会
学校教育課 ☎891-3506

「や(家)ーなれーや、ふか(他)なれー」

一、朝食をしっかりとらせましょう

毎日朝食をきちんと食べている市内の子の数は全国平均に比べ少ないです。空腹では集中力や体力に悪影響を与えます。

一、夜更かしをさせないようにしましょう

寝不足のまま登校すると昼間居眠りが多くなり、体調不良の原因にもなります。子どもの眠る時間には、睡眠のとりやすい環境をつくりましょう。

一、親子で会話する時間をもちましょう

普段家族と夕食を食べたり、学校の様子を家族に話したりする市内の子の数は、全国平均に比べ少ない傾向にあります。家族のコミュニケーションをとるようにしましょう。

生活習慣の確立が学力向上の“かぎ”

今回の調査では、学力テストなどの報告がありました。学力の他に児童生徒へのアンケートも向上はもちろんですが、子ども達の実施され、そこから学力と生活習慣の健全な心や体の成長のためには「望ましい生活習慣の確立」が重要です。ぜひ、家庭でも、ご協力ください。

主な紙面

- 特集 伸ばせ、学力!!
- ヘルストリビューン
- ほけんインフォメーション
- 三特集 ハブ咬症防止運動月間
- 環境トピック/その他
- ニュースダイジェスト
- 児童虐待防止月間(オレンジリボン)
- 平成26年度 保育所幼稚園入所入園案内
- 情報バック
- 協働さん/博物館トピックス
- うちなーぐちはあじくーたー/歴史まーい